

川口市立高等学校

ライブラリーニュース No.2 令和8年度7月号

3年 寺原、谷島

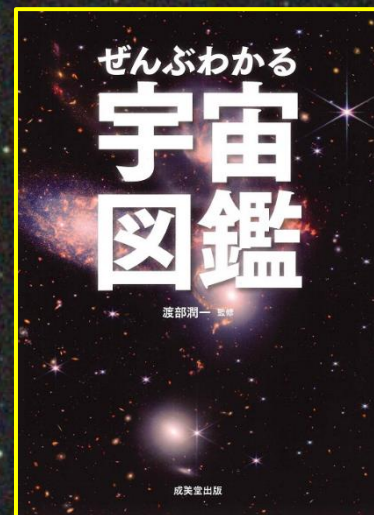
今月の図書委員によるおすすめの本です！

今月号は宇宙・天文にかかわる本をまとめました！これからの時季は梅雨も明けて晴れる
ことが多くなると思いますので、ぜひ星空を楽しみながらお読みください。

「ぜんぶわかる宇宙図鑑」(成美堂出版) 渡部潤一 監修

宇宙ってどうやってできたのだろう？宇宙にはどういう天体があるのだろう？

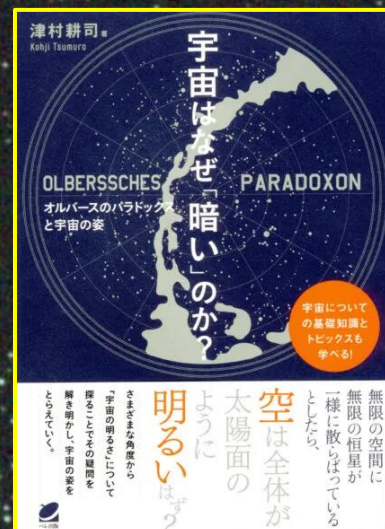
こちらの本は宇宙のでき方から宇宙にある様々な天体、そして天文観測の設備について幅広く、天文初心者にもわかりやすく説明されています。



「宇宙はなぜ「暗い」のか？」 オルバースのパラドックスと宇宙の姿」 (ベレ出版) 津村耕司 著

宇宙って恒星がたくさんあるのになんで暗いのだろう？
そのように考えてみたことはありますか？

この本では、天文に関する基本的な知識を学べるようにしつつも、宇宙の「明るさ」について様々な角度から考察されています。



「五〇億年の孤独

宇宙に生命を探す天文学者たち」

(早川書房)

リー・ビリングズ 著/松井信彦 訳

宇宙には太陽以外の恒星を回る恒星は存在するのか、われわれのほかに知的生命が存在するのかといった人類に重要な問いに挑戦する天文学の最前線のようにすが、天文学者へのインタビューをもとにしてリアルに書かれています。



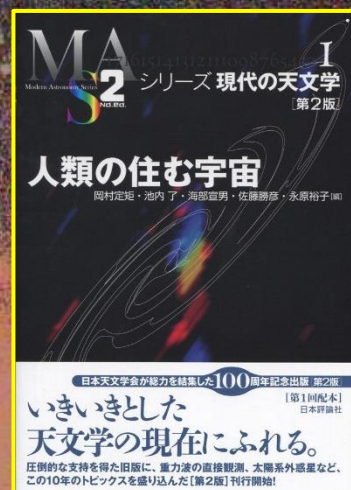
「人類の住む宇宙

シリーズ現代の天文学[第2版]」(日本評論社)

岡村定矩・池内了・海部宣男・

佐藤勝彦・永原裕子 編

こちらの本には天文学について全体的に詳しくまとめられています。高校生にはハイレベルな内容となっておりますが、天文について専門的に学びたい人にはお勧めです!なお、このシリーズでは他にもテーマごと(銀河や恒星など)にまとめられた本があるのでそちらも興味がある人はぜひ読んでみてください。



※表紙の画像は出版社の許諾を得て使用しています。なお、画像周囲の黄色の枠線は編集の都合上付けています。

＋編集後記＋

私は、元々天文学は難しそうな分野だと思って畏れを抱いておりましたが、今回のライブラリーニュース作成を経て、天文学に対しては畏れ多いというよりも、面白いと思えるようになりました。